

# 教育委員会

<a href="#">教育行財政</a> .....	- 1
<a href="#">学校教育</a> .....	- 3
<a href="#">社会教育・文化財</a> .....	- 15
<a href="#">博物館</a> .....	- 17
<a href="#">図書館</a> .....	- 21
<a href="#">市民スポーツ</a> .....	- 25
<a href="#">青少年行政</a> .....	- 27
<a href="#">人権教育</a> .....	- 31
<a href="#">教育・視聴覚センター</a> .....	- 33

# 教育行財政

## 教育委員会開催状況

(19年)

会 議	議 案 件 数
14回	30件

## 審議状況

(19年)

	条 例	規 則	規 程	要 綱
制 定	件	件	件	件
廃 止		1		
改正(全部)				
"(一部)	4	10	2	

## 市内の教育機関

(平成20年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年生大学	校	人	校	人	2校	1,233人	2校	1,233人
高校全日制			9	7,629	4	2,707	13	10,336
定 時 制			2	650			2	650
通 信 制			2	959	1	541	3	1,500
中 学 校	22	8,613			3	855	25	9,368
小 学 校	40	18,469			1	456	41	18,659
幼 稚 園	24	1,527			15	3,480	39	5,007

## 教育費

(単位：千円)

費 目	平成17年度	18	19
教 育 費 ( A )	10,317,942	10,240,803	8,227,862
教 育 総 務 費	1,634,904	2,318,560	2,290,206
小 学 校 費	2,925,199	3,421,365	2,659,961
中 学 校 費	2,793,056	1,671,846	836,330
幼 稚 園 費	1,064,031	1,058,959	911,150
社 会 教 育 費	1,034,362	1,012,496	1,012,084
保 健 体 育 費	866,390	757,577	518,131
一 般 会 計 歳 出 額 ( B )	93,191,220	93,895,548	99,261,675
一般会計の中で教育費の占める割合(A/B)	11.1%	10.9%	8.3%

平成17～19年度は決算額

児童 1 人当たり教育費

(単位：円)

	平成17年度	18	19
小学校	110,099	93,560	93,692
中学校	84,447	74,490	73,805
幼稚園	78,042	79,074	85,369

いずれも建設関係費を除く。平成17～19年度は決算額、20年度は予算額

学校施設整備状況 (主要建設事業)

(単位：千円)

事業	年度	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
		校	事業費	校	事業費	校	事業費
小学校	校舎新增築	-	-	3	436,975	-	-
	危険等校舎改築	-	-	1	443,532	1	490,737
	バリアフリー化改修	-	-	3	68,773	3	72,440
	耐震補強	10	157,728	-	-	-	-
	給食室改修	3	90,874	1	25,958	1	61,536
中学校	バリアフリー化改修	-	-	3	91,462	3	81,289
	耐震補強	2	45,247	-	-	-	-
幼稚園	園舎等整備	-	-	1	10,139	-	-

学校備品の整備状況

(単位：千円)

校種	区分	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	教材・管理備品	26,938	5,797	19,660	1,822	17,253	4,028
	理科教育備品	2,078	-	1,667	-	1,715	-
	保健備品	1,161	-	1,756	-	976	-
	給食備品	11,978	10,856	10,566	5,151	9,570	1,378
	なかよし給食	1,147	-	0	-	0	-
中学校	教材・管理備品等	27,218	16,467	15,279	-	19,669	1,822
	理科教育備品	1,838	-	1,553	-	1,667	-
	保健備品	666	-	586	-	530	-
	給食備品	0	-	0	-	0	-
幼稚園	保育・管理備品	5,211	-	7,545	-	6,409	-
	保健備品	187	-	63	-	4,413	-
共同調理場	給食備品	-	-	9,330	-	249	-
合計		88,310	10,856	84,002	27,415	57,086	3,200

# 学 校 教 育

## 学校教育ビジョン

基本方針 新しい時代をたくましく切り拓いていく子どもの育成

自分で生活・学習していこうとする力の育成 <自立>

他とともに生活したり学んだりしていこうとする力の育成 <共生>

自分の生き方や学び方の質をさらに高めようとする力や向上心の育成 <チャレンジ>

## めざす子どもの姿

### 生きる力

確かな学力 基礎的・基本的な学力を着実に習得し、健全な社会人として生きるための基礎・基本を身につけた子ども

健康・体力 たくましく生きるための健康や体力を備えた子ども

豊かな人間性 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を備えた子ども

### 共に生きる力

コミュニケーション力

他の意見を聞き、自分の思いを伝える力を身につけた子ども

互いに向上する人間関係

互いに切磋琢磨し向上しようとする子どもたち

## 平成19年度学校教育指導方針

指導の力点 ・ 生きる力・共に生きる力の育成

・ 保護者・地域の信頼に応え、共につくる園・学校

・ 教職員の資質・能力の向上

具体方針 幼稚園教育 ・ 生きる力・共に生きる力の基礎を育成する。

・ 連携を重視した園運営を推進する。

小・中学校教育 ・ 自ら学び自ら考える力を育成する。

・ 豊かな人間性を育成する。

・ 健康な心と体を育成する。

・ 社会の変化に対応し、主体的に生きる力を育成する。

特別支援教育 ・ 障害のある子どもの自立し社会参加するための力を育成する。

人権教育 ・ 人権を尊重し、差別をなくす実践力を育成する。

園・学校づくり ・ 家庭や地域の信頼に応える学校づくりを推進する。

教職員の資質・能力の向上

・ 教職員の実践的指導力を高める効果的な研修を実施する。

家庭・地域の教育との連携

・ 家庭・地域との対話を大切に、共に進める子育てを推進する。

市内児童・生徒数の推移（公立）

年度	幼稚園			小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成10	770	724	1,494	9,496	8,826	18,322	4,818	4,580	9,398
11	746	721	1,467	9,322	8,627	17,949	4,663	4,443	9,106
12	794	691	1,485	9,174	8,633	17,807	4,671	4,237	8,908
13	743	736	1,479	9,119	8,579	17,698	4,636	4,179	8,815
14	706	771	1,477	9,069	8,490	17,559	4,521	4,111	8,632
15	798	753	1,551	8,920	8,519	17,439	4,378	4,028	8,406
16	746	735	1,481	8,991	8,571	17,562	4,269	3,997	8,266
17	804	827	1,631	9,455	8,977	18,432	4,411	4,059	8,470
18	836	783	1,619	9,387	9,009	18,396	4,413	4,197	8,610
19	839	764	1,603	9,437	8,926	18,363	4,397	4,168	8,565

特別支援教育

平成19年度は、小学校に知的障害学級36校、情緒障害学級27校、難聴学級1校、肢体不自由学級11校、中学校に知的障害学級19校、情緒障害学級9校、難聴学級1校、肢体不自由学級3で、総計61校に107学級の障害児学級を設置し、そこに在籍する児童・生徒数は340人であった。

また、通級指導教室として、言語が小学校に2校、情緒等が小学校に1校設けられた。

特別支援学級設置状況

(1)小学校

(平成20年4月1日現在)

校名	学級	児童数	教員	内 容	校名	学級	児童数	教員	内 容
中部西	3	11人	3人	難聴・知的障害・情緒障害	大矢知興讓	4	12人	4人	知的障害(2)・情緒障害・肢体不自由
浜 田	2	3	2	情緒障害・肢体不自由	八 郷	2	10	2	知的障害・情緒障害
東橋北	2	3	2	知的障害・肢体不自由	下 野	2	9	2	知的障害・肢体不自由
海 蔵	2	10	2	知的障害・情緒障害	保 々	2	3	2	知的障害・情緒障害
塩 浜	2	6	2	知的障害・情緒障害	水 沢	1	2	1	情 緒 障 害
三 浜	2	6	2	知的障害・肢体不自由	高花平	2	9	2	知的障害・情緒障害
富 田	3	9	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	泊 山	3	12	3	知的障害(2)・情緒障害
富洲原	2	8	2	知的障害・情緒障害	笹川東	3	9	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由
羽 津	3	12	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	常磐西	3	10	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由
常 磐	3	10	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	笹川西	1	6	1	知 的 障 害
日 永	2	8	2	知的障害・情緒障害	三重西	2	7	2	知的障害・情緒障害
四 郷	2	5	2	知的障害・情緒障害	大谷台	2	5	2	知的障害・情緒障害
内 部	1	3	1	知 的 障 害	桜 台	2	5	2	知的障害・情緒障害
小山田	2	4	2	知的障害・情緒障害	三重北	1	6	1	知 的 障 害
河原田	1	2	1	知 的 障 害	八郷西	1	2	1	知 的 障 害
川 島	2	8	2	知的障害・情緒障害	羽津北	2	8	2	知的障害・情緒障害
神 前	1	4	1	知 的 障 害	内部東	2	7	2	知的障害・情緒障害
桜	3	10	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	中 央	1	4	1	知 的 障 害
県	1	7	1	知 的 障 害	楠	1	3	1	情 緒 障 害
三重	3	7	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	合 計	80	266	80	

(2)中学校

校名	学級	生徒数	教員	内 容	校名	学級	生徒数	教員	内 容
中 部	2	5人	2人	難 聴 ・ 知 的 障 害	朝 明	1	7人	1人	情 緒 障 害
橋 北	1	2	1	知 的 障 害	保 々	1	2	1	情 緒 障 害
港	1	3	1	知 的 障 害	常 磐	2	3	2	知的障害・情緒障害
塩 浜	1	1	1	知 的 障 害	西 陵	3	6	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由
山 手	2	5	2	知的障害・情緒障害	西笹川	1	3	1	知 的 障 害
富 田	1	1	1	情 緒 障 害	三重平	1	2	1	知 的 障 害
富洲原	2	7	2	知的障害・情緒障害	羽 津	2	7	2	知的障害・情緒障害
笹 川	2	9	2	知的障害・情緒障害	西朝明	2	7	2	知的障害・肢体不自由
南	2	8	2	知的障害・情緒障害	桜	1	7	1	知 的 障 害
三 滝	1	2	1	知 的 障 害	内 部	1	4	1	知 的 障 害
大 池	1	5	1	知 的 障 害	楠	1	4	1	知 的 障 害
					合 計	33	100	33	

保健・給食

学校給食は、成長期にある児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食事習慣を身につけさせ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送るための基礎を培うことを目指している。

- ・ 米飯は、地場産の特別栽培米を利用して、週2.5回米飯給食を実施している。パンは県内産の小麦粉を20%混入して、地元業者で焼いたパンを週2.5回実施している。
- ・ 副食は旬のもので可能な限り、地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。
- ・ 平成20年6月より21幼稚園で民間給食業者によるデリバリー給食を週1回実施していく。
- ・ 平成20年11月より5中学校で民間給食業者によるデリバリー給食を先行実施していく。
- ・ 楠中と楠北幼・楠南幼で実施している給食については、平成22年4月以後全市の中学校、幼稚園と同じ給食方式に統一していく予定である。

1. 学校給食実施状況

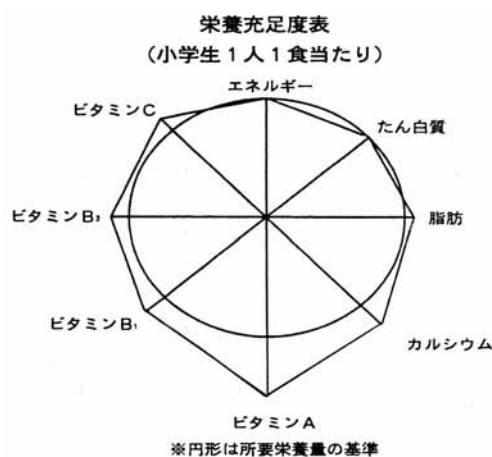
(平成19年度)

区 分		小 学 校	中 学 校	幼 稚 園	中学校(ミルク給食)
実 施 校 数		40校	1校	2園	21校
対 象 人 員		19,738人	353人	187人	8,238人
調 理 員 数		217人			
1食当たり額	パ ン	46円90銭			
	米 飯	56円88銭			
	牛 乳	43円49銭			43円49銭
	パ ン 副 食	125円26銭			
	米 飯 副 食	115円29銭			
1 食 当 た り 経 費		215円65銭	245円18銭	196円84銭	
年 間 実 施 予 定 回 数		190回	166回	190回	98回
徴 収 額 (1ヶ月)	高 学 年	3,800円	3,700円	3,400円	(年額) 4,300円
	低 学 年	3,650円			

調理員内訳 正職員59人 6時間パート150人 4時間パート3人 派遣5人

2. 栄養摂取量 (小学校) (平成19年度)

エ ネ ル ギ ー	632kcal	
た ん 白 質	25.3g	
脂 肪	21.0g	
カ ル シ ウ ム	348 mg	
ビ タ ミ ン	A	343 μgRE
	B <sub>1</sub>	0.47 mg
	B <sub>2</sub>	0.59 mg
	C	27 mg



## 3. 学校災害件数及び医療費給付額

(金額単位：千円)

区分	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
幼稚園	83	598	75	566	69	787	70	443
小学校	1,175	9,690	1,327	10,713	1,313	10,998	1,229	10,510
中学校	1,097	11,867	1,183	33,292	1,268	13,963	1,217	15,051
合計	2,355	22,155	2,585	44,571	2,650	25,748	2,516	26,004

## 4. 保健担当者一覧

(平成20年5月1日現在)

職名	配置状況	員数
学校医	1校・園1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	62人
学校歯科医		90人
学校薬剤師	本務小学校20人、中学校10人	30人
保健主事	各小・中学校1人	62人
養護教諭	〃(常磐小・日永小・大矢知興譲小各2人) (川島小巡回養護を含み2人)	66人

## 5. 児童・生徒の体格平均値比較

## (1) 小学校

(平成19年度)

区分		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)	
		男	女	男	女	男	女
6 歳	四日市市	116.1	115.3	21.0	20.6	64.8	64.5
	三重	116.6	116.3	21.4	21.4	65.0	64.9
	全国	116.6	115.8	21.5	21.0	64.8	64.5
7 歳	四日市市	122.0	121.2	23.9	23.2	67.6	67.3
	三重	122.8	121.6	24.6	23.1	68.0	67.4
	全国	122.5	121.6	24.2	23.5	67.7	67.3
8 歳	四日市市	127.4	127.1	26.6	26.1	69.9	70.0
	三重	128.2	127.5	27.1	26.8	70.3	70.1
	全国	128.3	127.4	27.4	26.6	70.4	70.0
9 歳	四日市市	133.1	133.1	30.1	29.6	72.5	72.6
	三重	133.8	133.3	30.6	29.6	72.9	72.7
	全国	133.6	133.5	30.7	30.0	72.7	72.8
10 歳	四日市市	138.4	139.8	33.8	34.0	74.7	75.6
	三重	139.3	140.2	34.6	33.8	75.2	75.9
	全国	139.0	140.3	34.4	34.3	75.1	76.0
11 歳	四日市市	144.5	146.4	37.9	38.3	77.3	79.1
	三重	145.6	146.8	38.6	39.0	77.8	79.3
	全国	145.1	146.8	38.7	39.1	77.7	79.3



## (2) 中学校

(平成19年度)

区 分		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)	
		男	女	男	女	男	女
12 歳	四日市市	151.6	151.4	43.3	43.1	81.0	82.1
	三重県	151.9	151.8	44.4	43.5	81.2	82.3
	全 国	152.5	152.1	44.5	44.1	81.3	82.2
13 歳	四日市市	159.4	155.6	49.0	46.8	84.9	83.9
	三重県	159.7	154.9	49.7	47.4	85.2	84.1
	全 国	159.8	155.1	49.6	47.6	85.2	83.9
14 歳	四日市市	165.2	156.3	54.3	49.5	88.4	84.9
	三重県	164.7	156.2	54.4	49.8	88.0	84.8
	全 国	165.2	156.7	54.7	50.3	88.0	84.9

## 6. 小中学校自然教室

野外活動を通して、自然にふれる楽しさを味わうとともに、集団生活を通して人間的ふれ合いを深め、相互の理解と信頼を高めることを目的にしている。また、様々な体験活動を通して、生きる力の基盤となる自己判断力、自律性、協調性を身につけることに役立っている。

区 分	小 学 校	中 学 校
実 施 期 間	6月21日～11月30日	4月24日～2月27日
対 象 校	40校(2,926人)	22校(3,019人)
実 施 場 所	四日市市少年自然の家	四日市市少年自然の家 鈴鹿青少年センター等

中学校卒業生進路状況

(各年5月1日現在)

年 度	進 学 者		就 職 者、他		合 計	
	人	%	人	%	人	%
平成5	3,405	96.7	117	3.3	3,522	100.0
6	3,353	96.5	121	3.5	3,474	100.0
7	3,168	97.1	93	2.9	3,261	100.0
8	3,039	96.4	115	3.6	3,154	100.0
9	3,029	97.2	88	2.8	3,117	100.0
10	3,163	96.8	106	3.2	3,269	100.0
11	2,978	96.9	95	3.1	3,073	100.0
12	2,930	96.8	96	3.2	3,026	100.0
13	2,903	97.0	92	3.0	2,995	100.0
14	2,962	96.7	102	3.3	3,064	100.0
15	2,818	96.8	94	3.2	2,912	100.0
16	2,820	97.4	74	2.6	2,894	100.0
17	2,711	97.2	77	2.8	2,788	100.0
18	2,809	97.8	64	2.2	2,873	100.0
19	2,738	98.2	50	1.8	2,788	100.0

奨学金事業

1. 貸与内容 (平成19年度)

名 称		四日市市奨学会
対 象 者		経済的理由により、修学困難な四日市市民又はその子。
貸与額	大学、短大、 専修学校(専門課程)	23,000円/月 入学支度金 35,000円 貸与総額 27,631千円
	高校、高専、 専修学校(高等課程)等	12,000円/月 入学支度金 30,000円 貸与総額 3,322千円

2. 貸与状況 (新規貸与者数)

年 度	高校生 (専修学校)	大学生 (専修学校)	合 計
	平成10	6	
11	6	23 (3)	30 (1)
12	6	26 (3)	29 (3)
13	8	26 (3)	32 (3)
14	14	28 (1)	34 (3)
15	10	37 (4)	42 (1)
16	2	27 (3)	47 (4)
17	11	32 (12)	29 (3)
18	12	29 (4)	43 (12)
19	8	29 (6)	37 (6)

( )は専修学校で内数

3. 奨学金の返還

事 項	返還開始日	返還月数	返還方法	返 還 日
	貸与の必要がなくなった日から 1年を経過した日の翌日	10年を限度	半年賦 又は年賦	毎 年 度 (4月1日~1月31日)

## 私学助成

(平成19年度)

私立学校の教育条件の維持向上並びに経営の健全性を高める次の助成措置を行う。

区 分	運営費補助 (設置者補助)	建設費補助	教員研修費 補助
幼稚園	1園年額 400,000円 + 100円 × 園児数 + 670円 × 内科検診実施園児数 + 440円 × 歯科検診実施園児数	要綱補助	(園長 + 教員) × 10,000円
小学校	市内在住児童1人年額 市内に設置されている学校の場合 4,500円 市外に設置されている学校の場合 3,600円	予算補助	
中学校	市内在住生徒1人年額 市内に設置されている学校の場合 4,500円 市外に設置されている学校の場合 3,600円	予算補助	
高等学校等	市内在住生徒1人年額 市内に設置されている学校の場合 4,500円 市外に設置されている学校の場合 3,600円	予算補助	

## 就学援助

19年度実績

(単位：円)

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

区 分	金 額
小学校	100,852,517
中学校	48,062,295
計	148,914,812

## 就園奨励

幼稚園教育の振興を図るため、市内の公私立幼稚園に就園する園児の保護者(四日市市民)に対し、世帯の経済状況に応じ、入園料・保育料の減免措置を講じる。

## 学校英語教育充実事業

国際化が進展する社会を主体的に生きる子どもの育成をめざして、姉妹提携を結んでいる米国・ロングビーチ市の青年や文部科学省等の事業に参加した青年(11名)を招致し、市内中学校の英語指導員として英語学習、並びに小・中学校教員を対象とするの語学(英会話)研修などの指導にあたった。また、小学校にも外国人英語指導員を派遣(委託業者から7名派遣)し、体験的な英語活動を行った。

1. 人 数 ・ 18 名
2. 対 象 ・ 市内全小・中学校
3. 職務内容 ・ 日本人教師とともに中学生の英語学習指導、小学生の英語活動にあたる。  
・ 小・中学校教員の語学研修講師を務める。  
・ 小中学校での国際理解教育の推進にあたる。

## 市立幼稚園施設

(平成20年5月1日現在)

園名	所在地	創立年月日	教職員数	園児数	学級数
四日市	元町 10-4	明 28.10.1	3 (5)	51	2
富田	富田 1 丁目 24-26	大 15. 7. 3	4 (5)	73	4
泊山	前田町 1-19	昭 21.11. 4	5 (6)	132	4
海蔵	大字東阿倉川 580	昭 22. 6.18	4 (7)	105	4
納屋	蔵町 5-8	昭 28.10.26	2 (2)	28	2
内部	采女町 911	昭 29. 5. 1	5 (5)	107	4
川島	川島町 1725-1	昭 29. 4.10	2 (3)	64	2
神前	高角町 338-1	昭 28. 4.10	4 (1)	40	2
三重	東坂部町 110-1	昭 29. 5. 5	3 (3)	44	2
橋北	高浜町 1-4	昭 31. 5.10	2 (2)	24	1
保々	西村町 2738	昭 31. 4.10	4 (2)	59	2
下野	朝明町 464	昭 37. 4. 1	3 (2)	43	2
羽津	大宮西町 19-22	昭 40. 4. 1	4 (5)	95	4
富洲原	富洲原町 31-14	昭 41. 4. 1	3 (3)	68	3
高花平	高花平 2 丁目 1-56	昭 44. 4. 1	3 (2)	43	2
大矢知	大矢知町 3255	昭 46. 4. 1	2 (3)	48	2
八郷中央	千代田町 265-1	昭 47. 4. 1	3 (4)	36	2
桜	桜町 1420	昭 48. 4. 1	4 (6)	80	4
常磐中央	ときわ五丁目 4-53	昭 49. 4. 1	4 (5)	93	4
塩浜	大字塩浜 887-1	昭 50. 4. 1	2 (1)	11	1
笹川中央	笹川三丁目 157	昭 52. 4. 1	3 (6)	62	2
三重西	三重三丁目 130	昭 52. 4. 1	3 (2)	44	2
楠北	楠町北五味塚 2060-63	昭 39. 4.	5 (3)	129	5
楠南	楠町南五味塚 275 - 1	昭 45.11. 5	2 (2)	48	2
合 計〔24園〕			79 (85)	1,527	64

( )は嘱託、臨時等で外数

用務員は、教職員数からは除く

橋北幼,塩浜幼は、混合1クラスで算出

## 市立学校施設

## 1. 小学校

(平成20年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数	児童数	学級数		教室数	
							普通	特別
中部西	北町 2-23	明 5.3.15	人 27	人 364	12	(3)	14	8
浜田	北浜田町 13-6	明 8.9.20	26	542	18	(2)	18	7
西橋北	川原町 25-22	大 5.5.20	12	169	6	(0)	11	8
東橋北	東新町 26-32	昭 11.8.21	13	93	6	(2)	10	7
海蔵	大字東阿倉川 578-1	明 8.7.1	34	756	23	(3)	26	7
塩浜	塩浜町 1	明 8.11.2	18	242	8	(2)	16	9
三浜	海山道町一丁目 1532-1	昭 31.4.1	13	125	6	(2)	11	12
富田	富田一丁目 24-49	明 20.7.1	29	600	20	(3)	20	11
富洲原	富洲原町 31-14	明 9.9.30	29	648	19	(2)	24	10
羽津	大宮町 16-35	明 7.5.10	25	459	13	(3)	22	8
常磐	城西町 9-14	明 8.12.5	46	818	27	(3)	32	10
常磐西	大字松本 764	昭 48.4.1	35	710	22	(3)	25	8
日永	日永四丁目 5-13	明 8.11.10	36	682	23	(2)	25	8
泊山	大字日永 5530-19	昭 46.4.1	25	491	16	(3)	17	8
四郷	西日野 3207-1	明 9.2.4	21	422	12	(2)	17	7
笹川東	笹川六丁目 25	昭 48.4.1	22	281	10	(3)	18	8
笹川西	笹川五丁目 62	昭 50.4.1	22	333	12	(1)	24	7
高花平	高花平二丁目 1	昭 38.5.7	18	320	11	(2)	13	9
内部	采女町 888-1	明 7.2.3	29	613	19	(1)	27	8
小山田	山田町 1373-1	明 8.12.1	17	231	9	(2)	12	9
河原田	河原田町 70	明 8.11.9	17	255	11	(1)	13	8
川島	川島町 2046	明 8.11.28	38	840	26	(2)	28	8
神前	曾井町 493-1	明 8.2.4	20	338	12	(1)	14	7
桜	桜町 1257	明 8.7.1	31	521	18	(3)	25	9
梶	赤水町 1002	明 7.5.4	23	452	14	(1)	20	10
三重	東坂部町 222-2	明 8.11.1	24	427	13	(3)	18	8
三重西	三重三丁目 129	昭 50.4.1	23	446	14	(2)	25	12
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50.4.1	28	582	18	(2)	22	9
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7.3.16	44	873	28	(4)	29	9
八郷	平津町 99-1	明 25.6.1	32	635	19	(2)	21	8
下野	朝明町 475-1	明 9.3.1	24	497	16	(2)	22	9
保々	西村町 2741	明 7.4.25	29	514	17	(2)	19	7
水沢	水沢町 2491	明 8.12.4	15	232	8	(1)	11	8
桜台	桜台一丁目 32	昭 52.4.1	22	403	13	(2)	18	9
三重北	山之一色町 90	昭 53.4.1	19	321	12	(1)	15	10
八郷西	萱生町 1086	昭 53.4.1	16	238	9	(1)	11	8

羽津北	大字羽津 500	昭 57.4.1	27	463	16	(2)	19	8
内部東	采女町 423-4	昭 59.4.1	30	622	20	(2)	24	7
中央	元新町 2-36	平 7.4.1	16	236	8	(1)	13	11
楠	楠町北五味塚 2060-9	明 8.11.20	31	675	21	(1)	26	11
合 計〔40校〕			1,008	18,469	605	(80)	755	345

## 2. 中学校

(平成20年5月1日現在)

校 名	所 在 地	創立年月日	教職員数	生徒数	学級数		教 室 数	
							普通	特別
中部	西浦二丁目 5-36	昭 22.4.15	人	人	10	(2)	16	12
橋北	高浜町 1-4	昭 22.4.15	13	105	3	(1)	6	15
港	十七軒町 10-41	昭 22.4.15	18	218	6	(1)	11	14
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22.4.15	18	165	7	(1)	11	14
山手	大字東阿倉川 70	昭 22.4.15	37	559	17	(2)	21	13
富田	東茂福町 4-19	昭 22.4.15	21	271	9	(1)	15	11
富洲原	天ヶ須賀五丁目 3-10	昭 22.4.15	23	338	9	(2)	15	11
笹川	西日野町 268-2	昭 22.4.15	29	390	12	(2)	16	16
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51.4.1	26	320	10	(1)	18	14
常磐	大字松本 810	昭 48.4.1	44	676	19	(2)	22	12
南	前田町 18-17	昭 22.4.15	44	683	19	(2)	19	20
三滝	高角町 2068-2	昭 22.4.1	26	410	12	(1)	16	14
大池	下海老町 2662-1	昭 22.4.1	29	501	15	(1)	21	16
朝明	平津町 409-2	昭 22.4.1	40	697	19	(2)	20	11
西陵	西山町 7229	昭 51.4.1	21	225	7	(3)	11	12
保々	西村町 2787-2	昭 22.4.15	19	215	6	(1)	10	13
三重平	三重八丁目 1	昭 52.4.1	18	229	7	(1)	14	14
羽津	大字羽津甲 26	昭 54.4.1	28	442	13	(2)	16	11
西朝明	北山町 1169	昭 54.4.1	25	350	11	(2)	16	12
桜	桜町 1064	昭 57.4.1	30	504	15	(1)	21	14
内部	波木町 697	昭 60.4.1	37	638	18	(1)	17	12
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22.4.15	22	319	9	(1)	14	16
合 計〔22校〕			589	8,565	596	8,613	346	297

( )内は障害児学級数を示した外数

用務員・調理員は教職員数から除く

市内私立文教施設

1.私立小・中学校

(平成20年5月1日現在)

学 校 名	所 在 地	創 立 年	教 員 数	児 童 ・ 生 徒	学 級 数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3-37	昭23	37人	456人	18
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	39	523	14
海 星 中 学 校	追分一丁目9-34	昭31	42	174	7
メリノール女子学院中学校	平尾町2800	昭38	32	158	6
合 計〔4校〕			150	1,311	45

教員数には兼務者を含む

2.私立幼稚園

(平成20年5月1日現在)

園 名	所 在 地	創 立 年 月 日	教 員 数	園 児 数	学 級 数
暁	天ヶ須賀五丁目2-5	昭21	21人	204人	9
双 葉	三栄町5-3	昭12	2	3	2
工 ン ゼ ル	千代田町459	昭31	24	488	16
富 田 文 化	大字茂福905-4	昭35	23	192	9
羽 津 文 化	別名五丁目4-31	昭46	26	244	11
ひ か り	伊倉二丁目8-23	昭36	14	244	9
ま き ば	松本三丁目1-37	昭46	13	129	7
海の星カトリック	十七軒町2-4	昭39	7	70	3
あ お い	大矢知町2700	昭42	45	472	17
桜 あ お い	智積町6104	昭53	34	322	12
と き わ	西松本町15-10	昭44	23	279	9
津 田 第 一	笹川一丁目106-2	昭47	30	378	14
津 田 第 二	笹川七丁目52	昭49	17	184	7
津 田 三 滝	川島町6513	昭53	17	158	8
め ぐ み の 園	室山町475-1	平 7	17	113	5
合 計〔15園〕			313	3,480	138

教員数には兼務者を含む

# 社 会 教 育 ・ 文 化 財

## 社会教育

### <平成19年度主要事業>

#### (1) 社会教育関係団体の支援

四日市市PTA連絡協議会が設立目的にあった活動ができるよう支援した。

#### (2) 学校施設(教室)開放の推進

地域住民の学習活動、地域活動を推進するため、39小学校3中学校の学校施設(教室)開放を行った。

#### (3) 子どもの読書活動推進

「四日市市子どもの読書活動推進計画」に基づいて、市民を中心とした推進会議の開催や人権フェスタでの啓発図書展示や絵本の読み聞かせ会などを実施した。

#### (4) その他

成人式企画委員会を設置し、記念式典のほか、新成人へのメッセージ及び四日市少年少女合唱団による合唱を行った。

(1月13日(日) 四日市市文化会館 参加者数 約2,300人)

## 文化財

四日市市で生まれ、培われてきた文化財は、地域への愛着や郷土意識を生み出す重要な文化資源であり、それらの保護・活用は、市民が自己を高め生きがいをもって暮らせる街づくりの一助となるものである。

そこで、これらの文化財を保護するとともに、その活用を図り、文化財に対する市民の関心と理解を深めることに努めた。

### <平成19年度主要事業>

#### 1 文化財の指定

- ・四日市宿本陣清水家文書(市指定有形文化財 古文書 平成19年8月16日指定)

#### 2 文化財の整備・維持管理

##### ・指定文化財の修理・整備

指定文化財「大入道」「絹本着色釈迦三尊十六善神像」「伊勢安国寺跡」「市場町獅子舞」「富田一本松」「大念佛」の修理に対して補助

##### ・文化財説明板の修理・整備

取り替え

- ・国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」・市指定史跡「天武天皇迹太川御遥拝所跡」

- ・市指定文化財「建福寺」(絵画 仏涅槃図、史跡 泗水の井戸)・文化財包蔵地「智積廃寺」

##### ・文化財指定地などの除草・清掃

御池沼沢植物群落・東阿倉川イヌナシ自生地・西阿倉川アイナシ自生地・桜町シデコブシ自生地・広古墳A群・大膳寺跡・旧四日市市役所四郷出張所・天武天皇迹太川御遥拝所跡・茂福城跡・冠山茶の木原など



- ・文化財パトロール

- 埋蔵文化財や天然記念物などの現状及び環境保全の状況把握を行う調査(埋蔵文化財担当調査員6人・天然記念物担当調査員1人)

### 3 文化財保護の普及・啓発

- ・文化財防火デー(文化財収蔵施設の予防査察と消防訓練 1/21~1/27)

- ・発掘展(四日市市立博物館 7/18~8/26)

- ・発掘出土品の展示(四日市市役所ロビー)

- ・遺跡見学会

- ・出前講座

- ・文化財整理作業所の見学

### 4 埋蔵文化財の発掘調査等

開発計画地内に所在する遺跡で、現状保存が困難なものについて発掘調査を実施し、その記録保存に努めるとともに、文化財整理作業所において出土遺物の整理・復元作業や保管・展示を行っている。

- ・発掘調査...北中寺遺跡、平戸山遺跡

- ・試掘調査...斑鳩B遺跡など16遺跡

- ・工事立会...大膳寺跡など46遺跡

# 博 物 館

博物館は、重要な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして平成5年11月2日に開館した。内径18.5mの傾斜型ドームのプラネタリウムを併設しており、市民を宇宙の神秘へ誘うとともに、天文知識の普及と啓発にも努めている。

## 基本理念

- 1 市民の創造性を高めます。
- 2 郷土を大切に作る心を育みます。
- 3 世代をつなぎます。
- 4 歴史を未来に活かします。
- 5 学校教育をより豊かなものにします。

## 施設概要

敷地面積	1,845.84㎡	
建築面積	1,590.40㎡	
延床面積	10,147.11㎡	
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建	
	6階	373.48㎡ プラネタリウム
	5階	1,340.81㎡ プラネタリウム、天文展示コーナー、天文学習室
	4階	1,343.05㎡ 特別展示室
	3階	1,251.01㎡ 常設展示室、サルビアギャラリー、丹羽文雄記念室
	2階	1,321.33㎡ 常設展示室、市民ギャラリー
	1階	1,466.32㎡ エントランスホール、講座室、ショップ、情報コーナー
	地下1階	1,536.71㎡ 収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室
	地下2階	1,514.40㎡ 収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室
総事業費	7,556,038千円	

## ・入館者の状況

\*印は前年度からの展覧会を含む

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合 計	備 考
13年度	305日	34,758人	44,082人	31,011人	109,851人	特別展3回*・企画展4回
14年度	304日	36,058人	56,309人	30,689人	123,056人	特別展5回
15年度	301日	24,093人	28,413人	34,591人	87,097人	特別展4回
16年度	301日	22,626人	29,498人	32,333人	84,457人	特別展2回・企画展3回
17年度	296日	24,171人	26,940人	42,519人	93,630人	特別展4回・企画展1回
18年度	297日	30,978人	33,098人	35,264人	99,340人	特別展2回・企画展3回
19年度	297日	36,001人	45,980人	41,926人	123,907人	特別展3回・企画展2回

所在地 〒510-0075 四日市市安島一丁目3番16号 TEL (059)355-2700(代表)

ホームページアドレス <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/>

開館時間 午前9時30分から午後5時まで(ただし入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始  
臨時休館日(平成20年度は、9月8日～9月18日)

#### 観覧料

区分	博物館特別展示1人1回につき	プラネタリウム1人1回につき	プラネタリウム特別番組1人1回につき
一般	2,100円の範囲内で委員会が定める額	530円	2,100円の範囲内で委員会が定める額
大学生・高校生		370円	
中学生・小学生	無料	200円	

常設展示は無料

20人以上の団体入館者は8割の額

観覧料の減免 市内及び三重郡の小中学校が学校行事として利用する場合10割、障害者5割

消費税相当額加算免除 中学生以下、障害者

#### 施設使用

室名	午前(9:30～12:00)	午後(13:00～17:00)	全日(9:30～17:00)
特別展示室(4F) 595 m <sup>2</sup>			31,500円
講座室(1F) 142 m <sup>2</sup>	8,400円	12,600円	21,000円
市民ギャラリー(2F) 94 m <sup>2</sup>			2,100円

観覧料等を徴収する場合は5割増し。

博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

商業宣伝、営業行為には使用できない。

#### 博物館事業

##### ・常設展

基本テーマ「伊勢湾(うみ)と鈴鹿山脈(やま)のある四日市の文化と生活環境」をもとに、地質時代から現代に至る“四日市のあゆみ”をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1からテーマ6に分けて展示している。

常設展示内のサルビアギャラリーでは、学習支援展示や収蔵品展示を随時行っている。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

##### テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

「自然のすがた」、「大地のおいたち」、「化石は語る」など、現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ち、自然環境の様子を取り上げている。

##### テーマ2 原始・古代の人びとの生活

「石器を使った人びと」、「土器を使った人びと」、「米づくりと青銅器の製作」、「大和朝廷と北勢地域」、「古墳の築造と渡来人の活躍」、「律令国家への道」など、旧石器時代から平安時代までの人びとの生活の様子を取り上げている。

##### テーマ3 “四日市”と“四日市庭浦”の成立

「中世の武士と商人」、「伊勢湾諸湊と四日市庭浦の成立」、「くらしと生活用具」、「いのりと信仰の世界」など、田原美作守忠秀が浜田に築城して街道を城の東に移し、定期的に市が開かれて“四日市”

の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも“四日市庭浦”が重要な役割を果たしたことなど、鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を取り上げている。

#### テーマ 4 東海道と伊勢参宮道の賑わい

「近世への胎動」、「宿場と東海道」、「四日市湊と町の展開」など、四日市が東海道五十三次の43番目の宿駅として、また、日永にあっては、伊勢参宮道との分岐点として次第に交通の要衝の地として発展してきた江戸時代の様子を取り上げている。

#### テーマ 5 四日市港と近代産業の発展

「みなとの整備」、「近代のくらしと社会」、「地場産業と近代産業」など、四日市港の改修と、製糸、萬古焼、製茶、製網、製油などの地場産業に焦点を当てるとともに、市制を施行し、次第に市域を拡大していく幕末・明治から昭和初期までの近代の様子を取り上げている。

#### テーマ 6 戦災からの復興と都市の創造

「戦中から戦後のあゆみ」、「港湾・産業都市としての再生」など、甚大な被害をもたらした四日市空襲からの復興と、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

丹羽文雄記念室 四日市市名誉市民で、文化勲章受章作家の丹羽文雄の文学と人となりを展示

### ・特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がり資料の展示等を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。また、その期間中テーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

(平成19年度開催)

特別展等	恐竜と生命の大進化 - 中国雲南 5 億年の旅 - ロンドン発！ゆかいなからくり人形展 伊藤利彦の見た世界 - 絵画からレリーフへ - 故郷からのおくりもの - 高橋まゆみ創作人形の世界 - 昭和はくぶつかん - 懐かしい暮らしの道具 - 49回 北勢地区高等学校美術展
刈りアザリ	新収蔵品展示
学習支援展示	大昔の四日市 - 弥生時代と古墳時代 四日市空襲と戦時下の暮らし 萬古焼のはじまり - 印から見た古萬古・有節萬古のかたち - むかしのくらし

### ・教育普及活動

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。また、博物館専門職員である学芸員の資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館業務を実習させる。博物館活動の目的のひとつである生涯学習の場の充実のため博物館ボランティアや学校団体からの見学、博物館教室の子どもたちの活動をサポートする学習支援ボランティア、所蔵資料の解説を行う古文書ボランティアの充実を図っている。

#### ・資料の収集保存活動

最も基本的な機能であり、公立博物館として広く四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実を図り、その保存に努める。なお、収集資料の専門事項について、審議または指導・助言を行うため「資料委員会」を設置している。

#### ・調査研究活動

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行い、『研究紀要』を発行する。

[平成19年度調査] 絵画作品調査、各種企画展・特別展調査など

#### プラネタリウム事業

プラネタリウムでは、様々な投映機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会などを市内各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらう。

#### ・プラネタリウム投映事業

四季の星空と宇宙のテーマを合わせた季節番組や特別番組(生演奏コンサート、CDコンサートなど)により、星座や宇宙・天文の世界を提供する。

保育園、幼稚園、小学校の年齢・学年等に応じた学習プラネタリウムも行っている。

また、天文学の最前線で活躍する講師を招いて天文・宇宙の最近の話題や成果をわかりやすく解説する企画「宇宙塾」の実施や、どなたにもプラネタリウム投映を楽しんでいただくため、解説に字幕を付けたり、赤外線補聴装置の貸出しも行っている。

#### ・教育普及活動

「天文教育研修」、「子ども天文教室」、「公開観望会」など幅広く天文普及活動を行う。また、三泗地区内にある中学校や小学校と連携した出前授業(移動式プラネタリウム・立体映像システムを活用)も行っている。

#### ・天文展示コーナー

テーマ展示を「宇宙観5000年の歴史」とし、古代から現代にいたる宇宙観の歴史をわかりやすくパネルで展示している。また天体写真や実物の隕石も展示して宇宙の神秘にふれるコーナーを設けている。

さらにパソコンによる太陽系シミュレーション、天文教材ビデオや日本の宇宙開発のようすなどを見させていただくコーナーを設置している。また、季節の星座やプラネタリウム番組に合わせた展示も行っている。

#### ・移動天文車「きらら号」

口径20cmの高性能天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」として、市内各地に出向き観望会を実施する。観望会には天文ボランティア(48名)が交代で参加協力する。また、天文事象(見頃の惑星など)をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘の宇宙の姿を紹介していく。

#### 博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。 [委員数15名:定例会 年2回開催]

# 図 書 館

## 平成19年度事業報告

市民の知的欲求に応じて、その満足度の向上に資するため、図書館の使命を明確にして、資料の収集整備とサービスの質的向上を進め、老朽化する施設を適切に維持管理しながら、31万都市にふさわしい「市民の図書館」づくりに努めた。

市民の多様な学習要望に応えられるよう、適切な蔵書の整備を図り、20,200冊(点字・録音図書除く)の図書を受け入れた。

人権・同和問題関係図書・資料の収集・提供に努めた。

市立図書館・あさけプラザ図書館・楠公民館図書室・自動車文庫で借りた図書を前述のどこでも返却できるよう物流システムを構築するなど、利用者サービスの向上とレファレンス業務の充実を図るとともに、自動車文庫による地域利用者サービスの向上を図るため、みなと号を車椅子対応車両に更新した。

点字・録音図書の充実を図るとともに、点訳及び録音基礎講座を開催し、障害者サービスの啓発に努めた。また、視覚障害者のための対面朗読サービスの試行を開始した。

市内はもとより、三重県内および周辺地域の地域資料の情報の把握に努め、地域資料の充実と積極的な活用を図り、将来的に地域資料室の拡充に備えた。

図書館にふさわしい講座・講演会を開催し、図書館利用者の拡大に努めるとともに、児童室では、職員による赤ちゃんのための読み聞かせを定期的実施するなど、子ども読書活動推進に向けた事業拡大を図った。

三重県図書館情報ネットワークなどインターネットを活用した相互貸借の推進や「桑名市」「いなべ市」など周辺市・町との連携による市民の広域利用の充実と円滑化を図った。

広報・ホームページを利用した図書館情報の発信や、玄関ホールの一隅に設置した「テーマコーナー」の充実と展示によって、蔵書の広報に努めた。

近鉄四日市駅周辺の公共施設である市立博物館や四日市市文化会館と密接に事業等の連携を図った。更新時期を迎えた図書館情報システムを個人情報等のセキュリティーの強化と利用者にも使いやすく、録音・点字資料の検索できるものに更新した。

四日市市の図書館の将来のあり方について、平成21年度中に取りまとめができるよう調査研究を行った。

## 月別事業実施表

月	事 業 名
4	子ども読書の日読み聞かせ(21日)
6	特別整理期間(6月14日～23日)
7	夏休み絵本の読み聞かせ(21日)
8	手づくり絵本講座(1・2・9日) / 子ども点字教室(3日) / 文化会館パラオ展関連絵本読み聞かせ(7・30日) / 絵本劇場(11日) / 夏休みおはなし会(15日) / 地域学習講座(19日) / 夕すずみおはなし会(24日)
9	読み聞かせボランティア研修(19・26日) / 「読書に関するエッセー」作品募集

10	手づくり紙しばい講座作品展 / 図書館情報システム更新(15～25日休館)
11	秋の絵本の読み聞かせ / 点訳基礎講座・音訳基礎講座(3・10・17日)
12	冬のおはなし会(22日) / 「読書に関するエッセー」表彰式(16日)
1	絵本劇場(12日)
2	読み聞かせ入門(9・16日)
3	春休みおはなし会(19日)

#### 施設の概要

- ・敷 地 4,738.01㎡
- ・構 造 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階
- ・開 館 昭和48年7月10日
- ・建物面積 延4,147.42㎡

1階	一般成人室	新聞雑誌コーナー13席・参考図書コーナー10席・軽読書コーナー他26席
	児童室	閲覧席66席
	点字・録音資料室	
2階	一般閲覧コーナー	閲覧席44席・パソコン専用席6席
	地域資料室	閲覧席12席
	視聴覚ホール	座席100席
3階	学習室	座席154席
	一般研究室	座席42席
	スナックコーナー	座席34席・図書館不要図書リサイクルコーナー・飲食コーナー
	会議室	座席24席
	研修室	座席12席

#### 業務内容

開 館 時 間	火・水・木・金曜日は午前9時30分～午後7時 土・日曜日及び祝日は午前9時30分～午後5時
休 館 日	毎週月曜日、毎月第2と第4火曜日、特別整理期間(6月中の約10日間)、年末年始
館 外 貸 出	本市及び三重郡三町の在学、在勤、在学者と桑名市、いなべ市、東員町住民を対象として1人10冊以内、15日以内で貸し出しする。
自 動 車 文 庫	市内に93ヵ所の駐車場を設け、2台の自動車文庫で月1回(8月を除く)巡回し、1人10冊以内で、翌巡回日まで貸し出しする。
資 料 複 写	著作権法の範囲内であれば、申し込みに応じて複写(複写料 白黒1枚10円・カラー1枚50円)。ただし、図書館資料(一部を除く)に限る。
資 料 相 談	電話、文書、来館のいずれでも可

過去3年間の利用状況

		17年度	18年度	19年度
開館日数		274	273	266
入館者数	年間総数	276,975	270,320	270,304
	1日平均	1,011	990	1,016
登録者数	総登録者数	101,788	63,441	63,067
	個人登録者数( 1)	101,434	63,110	62,675
	(うち15才以下)	(13,020)	(12,062)	(12,098)
	点字・録音(個人/団体)	113	94	49/57
	団体登録者	241	247	286
	個人登録率(%) ( 2)	32.8	20.3	20.0
貸出冊数		854,792	873,686	870,885
	本館	785,414	807,069	804,035
	(うち雑誌)	(18,536)	(27,591)	(26,230)
	自動車文庫	67,770	64,892	65,177
	(うち雑誌)	(594)	(675)	(425)
	点字録音:タイトル(冊) ( 3)	1,608(9,184)	1,725(9,956)	1,673
	録音	1,564(9,117)	1,665(9,813)	1,620
	点字	44(67)	60(143)	53
	市民1人当り貸出数	2.8	2.8	2.8
	日曜日の1日平均貸出数	3,734	3,781	3,825
	1日の最多貸出数	4,989	5,968	6,593
	調査相談 件数	総数	4,827	5,194
口頭		4,659	4,988	4,548
電話		161	194	127
文書・メール		7	12	8
予約 リクエスト	総数	26,774	32,733	35,671
	本館 (窓口)	19,569	18,571	18,751
	本館 (インターネット)	3,303	9,689	11,809
	自動車文庫	3,902	4,473	5,111
複写	件数	4,798	4,668	4,328
	枚数	33,150	29,710	25,781
人口( 3)		310,710	312,996	313,495

- 1 個人登録者数は平成18年度から、5年以上未利用者数を除いた。
- 2 個人登録率 = (個人登録者 + 点字・録音個人登録者) ÷ 人口。
- 3 平成19年度より録音はタイトル数、点字は冊数。
- 4 人口は3月31日現在。



蔵書統計（平成20年3月末現在）

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人	11,158	7,835	3,323	260,248
成人図書	9,859	7,754	2,105	220,355
地域資料	541	14	527	18,705
参考図書	502	40	462	10,476
製本雑誌	113	0	113	4,037
人権啓発図書	143	27	116	6,675
本館児童	3,276	570	2,706	73,488
児童図書・紙芝居	2,798	569	2,229	70,807
製本雑誌	90	0	90	90
人権啓発図書	22	1	21	608
なのはな文庫	366	0	366	1,983
本館外国語(成人・児童)	99	12	87	3,583
本館雑誌(成人・児童)	2,777	2,642	135	19,113
点字・録音資料			-66	8,948
点字資料(冊数)			846	6,739
録音資料(タイトル数)			-912	2,209
自動車文庫	2,809	1,693	1,116	50,657
成人図書	1,947	1,248	699	29,779
人権啓発図書(成人)	49	0	49	995
児童図書・紙芝居	811	445	366	19,766
人権啓発図書(児童)	2	0	2	117
自動車文庫雑誌	81	161	-80	406
総計	20,200	12,913	7,221	416,443

資料区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
その他資料				
人権関係施設(四館所)	157	0	157	6,853
地図	0	0	0	2,096

図書購入費（当初予算）の推移

年度	18年度	19年度	20年度
総額	176,816	151,278	135,190
図書費	24,742	25,403	25,503
その他資料費	3,531	3,430	3,350

# 市民スポーツ

## <スポーツの振興>

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、各種の事業の推進を図るとともに、自立した地域スポーツを組織化するため、総合型地域スポーツクラブの設立を目指している。

### 各種大会

体育指導委員関係行事	.....	四日市市民スポーツフェスタ他 3 大会
レクリエーション協会関係行事	.....	レクリエーション大会他 7 大会
少年スポーツ団関係行事	.....	スポーツ少年団大会他 7 大会
体育協会関係行事	.....	総合駅伝大会他 10 大会

### 各種講習会

7 講習会	.....	472 名参加
-------	-------	---------

### 各種スポーツ教室

25 教室	.....	1,342 名参加
-------	-------	-----------

### 学校体育施設開放

40小学校・22中学校	.....	体育館・グラウンド・武道場・プール・テニスコート
-------------	-------	--------------------------

### 総合型地域スポーツクラブ

4ヶ所設立	.....	保々、楠、三重、橋北地区
-------	-------	--------------

## <体育施設の状況>

### 利用状況の推移

(人)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
587,335	582,322	680,784	697,781	858,225

注 スポーツ以外の利用含む

### 指定管理者の導入状況

#### 1) 四日市市運動施設指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成18年4月1日～平成21年3月31日 名称：四日市市体育協会・四日市市シルバー人材センターグループ	中央緑地公園運動施設など26施設

#### 2) 四日市ドーム指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成19年4月1日～平成22年3月31日 名称：トーエネックグループ	四日市ドーム

#### 3) 楠プラザ運動施設指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成19年4月1日～平成21年3月31日 名称：特定非営利活動法人楠スポーツクラブ	楠プラザ運動施設

体育施設の設置状況

施設区分	設置ヶ所数	面数等	設備の特徴など
全天候型多目的施設	1	1	ドーム型(9,707㎡)・人工芝
体育館	3	4	トレーニング室併設(1ヶ所)
陸上競技場	1	1	第2種公認・全天候型トラック400m
水泳競技場	3	7	流水プール(1ヶ所)、温水プール(1ヶ所)
野球場	5	6	照明設備(2ヶ所)
ソフトボール場	2	3	
サッカー・ラグビー場	3	4	照明設備(1ヶ所)、グリーンサンド(2ヶ所)
テニスコート	4	24	照明設備(2ヶ所)、人工芝(12面)
運動用舟艇場	1	1	30艇係留
弓道場	1	1	5人立ち
武道場	1	4	柔道・剣道場
相撲場	1	1	屋形付土俵
多目的運動広場	1	1	照明設備(1ヶ所)
グランドゴルフ場	1	1	河川敷
ゲートボール場	1	2	
地区運動広場	14	-	地区による管理(ソフトボール場・テニスコートなど)

# 青少年行政

## 基本方針

大人の責務として地域社会全体で、すべての青少年に「社会的自立への意欲」を育み、成長過程全般にわたる心と体の調和のとれた青少年の健全育成に取り組む。

## 基本目標

- ( ) 心豊かでたくましい自立した青少年の育成
- ( ) 青少年が心豊かに暮らせる環境づくり
- ( ) 地域ぐるみで取り組む青少年の社会的自立の促進

## 主要施策

### ( ) 心豊かでたくましい自立した青少年の育成

(1)子どもたちの学力・体力・気力の向上、望ましい基本的生活習慣の育成などをめざして、子どもの生活リズムの向上に取り組む。

「親と子どもの豊かな育ち事業」を推進する。

- ・「子どもの生活リズム向上」「規範意識の向上」への取組み。

(2)青少年がパソコンや携帯電話等を介した犯罪に巻き込まれないために、青少年自身が「自ら考え行動する」力をつけられるよう啓発を行う。また、インターネット等のトラブルから自他の安全を守るよう、保護者等にも啓発を行う。

携帯電話・パソコンの有害情報等に係る安全安心対策を実施する。

- ・有害情報等対策講座の開催、有害情報啓発パンフレットの配布。

(3)社会的に自立した個人として成長していくよう、家庭教育への支援や地域の大人への意識啓発に取り組む。

家庭教育に関する主体的な学習活動を支援する。

- ・家庭教育講座事業の実施をPTAに委託。

(4)地域、学校等において、コミュニケーションを大切にした他者とのかかわりの中で、心豊かにたくましく成長する力を発揮できるような自然体験・生活体験等の場や機会を提供できるよう支援していく。

グループ活動を通じた社会性と自主性の育成を推進する。

- ・各種青少年団体の自主的な活動の助成、青少年に対する多くの体験活動の場の提供。

遊びを中心とした行事を実施する。

- ・子ども会育成者連絡協議会、各種青少年育成団体等との協同。

(5)地域活動の中で青少年が中心となって活躍できるようなリーダーの育成を図るなど、行政として側面から支援していく。

ジュニア・リーダー、サブ・リーダーの資質と能力の向上を図る。

- ・リーダー養成講習会の開催。

## ( ) 青少年が心豊かに暮らせる環境づくり

- (6) 市民全体に対して、大人が良い手本を示すよう理解と協力を求めるとともに、補導活動時の青少年への声かけなどを通して、青少年による非行の防止活動を推進する。  
地域及び広域における非行等問題行動防止活動を推進する。  
・中央補導や地区補導、三四地区広域補導組織による街頭補導活動の実施。  
青少年問題に関する知識の向上と非行問題や虐待等の防止活動の充実を図る。  
・生徒指導定例会の開催。
- (7) 警察や関係機関の協力を得ながら、出版物・ビデオ・インターネットなどにみられる有害環境の浄化等に努める。  
地域における有害環境の浄化活動、危険箇所の調査及び安全対策を実施する。
- (8) 青少年の非行問題の多様化にともない、課題を持つ青少年及びその保護者の悩みに対応するため、相談活動を実施する。  
面接及び電話による「青少年と家庭の悩み相談」活動を実施する。  
青少年相談員による、青少年及びその家族への指導・助言活動を実施する。
- (9) 放課後の過ごし方等について、青少年が、コミュニケーションを大切にし他者とのかかわりを持ちながら、安全で安心して豊かに成長していくことができる心温かな地域の環境づくりを推進する。  
「子どもと若者の居場所づくり事業」を推進する。  
下校後、留守家庭の児童を対象に学童保育事業を行う運営団体に対して助成を行う。  
放課後子ども教室推進事業を実施する。  
地域で整備する子ども広場に対する助成を行う。  
登下校時等の子どもの安全対策を行う。  
・スクールガード・リーダーによる小学校区内の巡回。  
・「こどもをまもるいえ」の設置推進及び「子ども110番みまもりたい」活動の推進。

## ( ) 地域ぐるみで取り組む青少年の社会的自立の促進

- (10) 企業やNPO団体などとも連携、協働した育成活動の促進を図り、「早ね 早おき 朝ごはん」市民運動など、地域の教育力向上に向けた取り組みを進めていく。  
地域ぐるみで子どもの基本的な生活習慣の向上に取り組む。  
・四日市市PTA連絡協議会、企業等と連携した啓発活動の取り組み。
- (11) 市民が互いに協働して、地域の子どもは地域で育てていこうという気運を高め、行動に移していけるような支援施策を展開していく。  
「社会を明るくする運動」を推進し、啓発活動等を実施する。  
「青少年を非行から守る全国強調月間」中に啓発運動を展開する。  
「全国青少年健全育成強調月間」中に啓発活動を実施する。

## 青少年健全育成施設

### 1. 少年自然の家の設置目的（社会教育施設）

当施設は、豊かな自然の中で集団宿泊活動、野外活動、自然探求等を通じて、心身ともに健全な青少年を育成することを目的に設置された社会教育施設である。

### 2. 教育目標

- 『自然の中で、自分を磨き、友達の輪を広げよう』
- （自然の中で） 感動する心、共生する心を育てる。
  - （自分を磨く） 自己判断力、自主性、自律性を育てる。
  - （友達の輪を広げる） 協調性、思いやりの心を育てる。

### 3. 運営方針及び事業

- （1）青少年の主体的な体験活動の推進・支援  
主催事業、自然教室・各種団体受入れ事業、調査研究・職員研修事業、各種刊行物の発行等による啓発活動
- （2）社会教育と学校教育の連携の支援・促進  
自然教室支援事業、里山保全事業、体験活動実技講習会、関係機関との連携協力
- （3）家庭教育の支援と促進  
主催事業
- （4）ボランティアの活用・養成  
協力者主催事業支援、協力者自然教室支援、施設ヘルパー推進事業、リーダー研修受入れ事業、教育実習生受入れ事業、中学校職業体験学習受入れ事業
- （5）施設・設備の充実  
ふれあいの森整備事業、里山保全活動、設備の改修・修繕等

### 4. 主催事業

- （1）テーマ  
『挑戦、感動、発見』
- （2）全体目標  
参加対象、季節を考慮した多彩な体験プログラムにより、感動する心、自然と共生する心、自己判断力、自主性、自律性、協調性、思いやりの心を育成する。  
今後の生活に生きて働くような、価値ある体験活動を通して、一人ひとりに自分や友達を見つめ直す力を育成する。
- （3）種類別事業  
小・中学生を対象にした事業  
家族・グループを対象とした事業  
一般・教職員を対象とした事業

### 5. 施設概要

- （1）所在地 四日市市水沢町字大谷1423 2
- （2）本館・分館・水沢市民広場

	本館 そよかぜ、こもれび	分館 せせらぎ	水沢市民広場
宿 泊 定 員	177人	101人	
各 施 設	1階 事務室、医務室、会議室、浴室、総合研修館兼体育館 2階 宿泊室、食堂、リーダー室 3階 宿泊室、研修室、リーダー室	1階 研修室、大広間、創作室、乾燥室、リーダー室等 2階 宿泊室、講義室、リーダー室等	芝生広場
建 築 面 積	3,066㎡	1,339㎡	10,000㎡
構 造	鉄筋コンクリート3階建て	鉄筋コンクリート2階建て	芝生広場
建 設 年 度	昭和62年	昭和48年	平成4年
建 設 費	9億7,010万円	1億7,650万円	2億940万円

(3) その他の施設

キャンプ場(収容人数 160人、テント 20張り)、ファイヤー場、ふれあいの森、野外炊事場

6.利用について

(1) 利用の約束

自分のことは自分でします。 友達に迷惑をかけません。  
次に使う友達のことを考えます。

(2) 利用できる人

主催事業への参加者  
引率者及び活動計画を有する8名以上の団体(小・中学校団体、高校・大学団体、青少年団体・その他の団体) 特に、教育委員会が認めた団体

(3) 閉館日

毎週月曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日  
年末年始(12月28日～1月4日)

(4) 使用申請

使用日の10日前までに申請書により申請する。  
申請書の提出は、使用日の属する月の6か月前の1日からとする。  
7・8分月は、1・2月に抽選会を行う。

(5) 少年自然の家協力者会議

少年自然の家主催事業及び各種団体への技術指導を行うボランティア組織で、次の技術を提供する。 自然観察 登山・ハイキング 野外活動 里山保全活動

(6) 利用状況

施設 年度	本館・分館		キャンプ場		市民広場		合 計		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市内	市外
15	202	16,903	32	1,745			234	18,648	14,331	4,317
16	219	18,744	41	1,905	28	2,717	288	23,366	16,625	6,548
17	213	16,881	42	2,190	75	3,674	330	22,745	19,045	3,700
18	190	16,000	42	2,170	94	5,560	324	23,730	18,575	5,155
19	172	15,206	38	1,708	91	5,959	300	22,873	18,065	4,808

平成16年度から、キャンプ場と市民広場(利用申請の数)の利用を区分した。

# 人 権 教 育

本市が進める人権教育は、これまでの同和教育の実践が積み上げてきた理念や成果を踏まえ、世界の人権教育に学びつつ、自分自身、家庭、職場、地域と具体的に結びついたものを取り上げ、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解消を目指し、人権が普遍的に存在しうる社会の構築を図ることです。そのためには、主体的に人権教育を推進する人づくりと多様な学習の場の提供などを推し進めます。

## 学校人権教育（指導方針）

### **人権を尊重し、差別をなくす実践力の育成**

子どもたちが同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を自らの問題として自覚し、生活の中にある課題の解決を図っていくために、教職員は園・学校のあり方を人権尊重の視点で見直していく必要がある。さらに、この視点から教育目標や年間指導計画の策定に努め、あらゆる差別をなくす実践力につながる人権教育を推進していくことが求められる。

個々の自主性・自立性を基盤として、差別を見抜く力、差別を許さない心情、差別をみんなで解消する意欲と実践力を育成する。

家庭との連携を深め、子どもたち一人ひとりの生活実態とその背景から課題を明らかにし、課題解決に向けて支援する。

子どもたちの課題意識に基づく学びが生き方と結びつき、自らの生活へつなげていける実践力となる人権を視点にすえた総合的な学習を推進する。

教職員があらゆる差別を許さない人権意識を身につけ、園・学校や地域における人権教育推進の担い手としての自覚と力量を高める。

人権教育推進計画に基づく校内研修体制の充実と地域内の園や学校での実践の交流を推進する。

人権教育に関する研修会や研究会に積極的に参加し実践力を高める。

## 幼児・児童・生徒の人権活動

- ・人権啓発ポスターの募集（対象：保育園・幼稚園児、小学生、中学生、高校生／募集締切：9月14日）
- ・人権作文の募集（対象：小学生、中学生、／募集締切：1月15日まで）
- ・県北勢地区子ども人権フォーラム（対象：中学生／8月28日）
- ・市中学校ブロック子ども人権フォーラム（対象：小学生、中学生／開催日：各ブロック随時）
- ・人権のひろば展（開催日：12月7日～9日／展示内容：人権ポスター、各学校の取組）

## 教職員資質向上・人材育成

- ・人権教育推進委員研修会（対象：小・中学校推進委員／開催日5月25日）
- ・人権教育実践研修会（対象：小・中学校中堅教員／開催日8月3日 幼稚園教員／開催日7月23日）
- ・人権教育新規採用教職員研修会（対象：新採教職員全員／開催日8月20日）
- ・人権教育リーダー育成研修会（対象：小・中学校教員31名／研修日4回）
- ・人権教育リーダーフォローアップ研修会  
（対象：前年度までのリーダー育成研修会参加者／開催日12/26）
- ・いじめや差別をなくす人権意識向上研修会（市作成研修冊子を活用した研修会を全小・中学校で実施）

## 指導用図書及び資料の配付

- ・学校人権教育のてびき（第49集） 『朝明中学校 人権教育の実践』
- ・指導用図書 『部落史に学ぶ2』等

## 県・市人権教育指定



委託事業名	学 校 名 等	期 間
市人権教育推進校園	保々幼稚園 富洲原幼稚園 笹川東小学校 大谷台小学校 中央小学校 常磐小学校 常磐中学校 保々中学校 桜中学校	1 年
子ども人権文化創造	市内5地区	1 年
市中学校ブロック 人権文化創造	22中学校ブロック	1 年

人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・ 電話番号	建設 年月日	構造	敷地 面積 m <sup>2</sup>	建物 延べ m <sup>2</sup>	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目 1-21 TEL351-7609	S50.11.7 増築 H15.2.24	RC造 2F	697.52	250.50	1階 事務所、料理実習室、和室 2階 ホール、図書室
赤堀児童 集会所		S52.3.31 増築 H60.3.29	RC造 2F			
人権プラザ 天白	日永二丁目 5-15 TEL346-2803	S48.9.30 増築 H15.3.14	RC造 2F	864.00	253.26	1階 事務所、料理実習室、和室2 2階 ホール
天白児童 集会所		S58.3.31 増築 H3.3.31	S造 平屋			
人権プラザ 小牧	市場町 1041-24 TEL339-0909	S48.3.15	RC造 2F	1650.00	301.00	1階 事務所、相談室 2階 教養室、図書室
小牧児童 集会所		TEL339-1287	S50.3.31			
人権プラザ 神前	寺方町 2281 TEL326-0840	S50.4.30	RC造 2F	756.58	309.18	1階 事務所、料理実習室、相談室 2階 ホール、図書室
寺方児童 集会所	寺方町 2251 TEL326-5022	S52.8.31 増築 S60.3.30	S造 平屋	1799.79	486.84	ホール、学習室、図書室、幼児室、 図工室、ステージ、職員室
神前 柔道教室	曾井町 494-3 TEL326-4236	S52.5.25	S造 平屋	713.14	204.39	柔道場、相撲場

# 教育・視聴覚センター

## 施設の概要

施設目的	教育課題研究，教職員研修，特別支援教育，教育相談，不登校対策，教育情報環境整備，広報普及，及び視聴覚ライブラリーの事業を実施して，学校・園の教育の振興を図るとともに，広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館6,7,8F 北条町11番9号 第1適応指導教室（第ふれあい教室）， 日永東一丁目2 28 第2適応指導教室（第ふれあい教室）
施設	事務室 105.3 m <sup>2</sup> 相談支援センター 214.8 m <sup>2</sup> 情報教育室 100.34 m <sup>2</sup> 視聴覚ライブラリー 177.66 m <sup>2</sup> 研究室 47.72 m <sup>2</sup> その他研修室など 1,645.13 m <sup>2</sup> 第1適応指導教室 890.47 m <sup>2</sup> 第2適応指導教室 264.54 m <sup>2</sup> 合計 3,445.96 m <sup>2</sup>

## 業務内容（平成19年度）

事業名	内容
研究	<p>課題研究</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「自己学習力の向上」を図るための支援の在り方に関する研究</li> <li>2. 生徒用人權教育教材「わたしがやく」の小学校における効果的な活用法に関する研究</li> <li>3. 幼・小・中連携教育「学びの一体化」の在り方，進め方に関する研究</li> <li>4. 四日市市における小学校英語活動の効果的な推進に関する研究</li> <li>5. 教育センター研修と校内研修・OJT研修との関連を図った効果的な研修の在り方に関する研究</li> <li>6. 小学校における情報モラル教育の在り方に関する研究</li> <li>7. 四日市市における特別支援教育の在り方に関する研究</li> <li>8. 不登校児童生徒の支援における学校との連携の在り方</li> </ol> <p>嘱託研究校・園による研究推進 川島幼・三重北小・富田中 重点課題研究推進校による研究推進 常磐西小学校・大池中学校 教育図書、研究資料の整備、提供 研究報告書、研究資料、所報、ニュースの刊行</p>
教職員研修	<p>各種研修会</p> <p>基礎研修・職能研修・教科等に関する研修・領域等に関する研修・重点教育課題研修・カリキュラム研修・ステップアップ研修・夏季教育セミナー・研究協議会共催研修 グループ研修……幼稚園(4グループ) 三泗教育研修運営委員会……研究協議会活動，教育研究大会，教育講演会</p>
教育相談	<p>不登校や発達，行動等に課題のある子どもと，その保護者・教職員に対する相談支援（来所相談，学校・園への巡回相談（就学相談を含む），電話相談，他の相談機関との連携調整）</p> <p>「ふれあい教室」での不登校児童生徒に対する学校復帰・社会的自立に向けた支援 嘱託精神科医や小児科医による相談員等への指導・助言 臨床心理士等によるカウンセリングやプレイセラピー及び諸検査の実施 学生ボランティア「ふれあいフレンド」による不登校児童生徒への自立に向けた支援活動</p>
情報教育	<p>教育情報通信システムの環境整備と活用や運用の支援 情報教育推進のための調査・研究</p>
視聴覚センター	<p>視聴覚実技研修会（パソコン） 視聴覚ライブラリー16ミリフィルム，ビデオテープやプロジェクターなどの貸出し</p>